

# 平成22年度特別会計・水道事業会計予算

平成22年度予算を文教厚生常任委員会で構成する第2 予算審査特別委員会を設置して審議しました。慎重に審議した結果、予算を可決しました。



平成22年度特別会計・水道事業会計予算の一覧表

会計名		予算額	前年対比	主な内容
特別会計	国民健康保険	15億9186万3千円	9018万3千円(6.0%)	<b>歳入</b> 国民健康保険税 3億1533万1千円 国庫支出金 4億7871万9千円 <b>歳出</b> 保険給付費 10億9779万1千円 後期高齢者支援金等 1億6921万4千円 共同事業拠出金2億316万2千円
	老人保健	305万2千円	△2395万8千円(△88.7%)	<b>歳出</b> 医療諸費 278万2千円
	後期高齢者医療	1億950万2千円	△890万7千円(△7.5%)	<b>歳入</b> 後期高齢者医療保険料 6039万2千円 一般会計繰入金 4568万8千円 <b>歳出</b> 後期高齢者医療広域連合納付金 1億620万6千円
水道事業会計	収益的収入	2億1483万円	423万6千円(2.0%)	給水収益 2億1320万5千円
	収益的支出	2億688万3千円	600万円(3.0%)	水道企業団からの受水費 7896万9千円
	資本的収入	154万3千円	△147万7千円(△48.9%)	負担金 154万3千円
	資本的支出	675万2千円	504万円(294.4%)	建設改良費 542万8千円

※水道事業会計の資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額520万9千円は、当年度分損益勘定留保資金で補てんする。

## 第2 予算審査特別委員会 (文教厚生常任委員会)

### 審査報告(概要)

委員長 牟田口 美智子  
 副委員長 西田 勉  
 委員 中島 和正  
 徳永 豊  
 眞崎 萬次

### 国民健康保険

■ 国保会計は、平成15年度末で約3億8900万円の基金積立及び繰越金があったが、平成16年度に約5200万、17年に約4000万、18年度に8400万、それから平成19年度に6200万、20年度4100万円が単年度の赤字となっており、累計で平成20年度末においては2億7000万円の赤字となり、平成21年度当初における基金及び繰越金の残高合計は1億1千万円となっている。このままの状態では基金積立金が推移すれば平成22年度においては基金積立金及び繰越金残高がなくなることが予想されるため平成23年度においては、保険料改定等を含め何らかの対策を検討されることを強く要望する。

### 老人保健

■ 老人保健事業については平成19年度に事業が終了していることから、予算規模を縮小している。

### 後期高齢者医療

■ 前年度に比べ保険料全体の減収は、保険料の特例軽減措置に伴うものが主な要因となっている。

### 水道事業

■ 配水管情報と給水装置工事台帳の一体的管理により管路管理、漏水事故等に迅速に対処できる体制を整える。